

令和元年9月27日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2014～2018

課題番号：26370836

研究課題名（和文）16-19世紀における遠隔地商業環境と中国の社会経済構造に関する研究

研究課題名（英文）The Ambient Condition of Long-Distance Trade and the Problem in the Social Economic Structure of China from the 16th to the 19th Century

研究代表者

熊 遠報 (xiong, yuanbao)

早稲田大学・理工学術院・教授

研究者番号：50386588

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、資料調査、現地調査と国際学会の参加を含め、遠隔地商業環境と中国の社会経済構造に関する研究を推進してきた。具体的内容は、主に1) 商業環境の整備と徽州商人の活動、東アジア海域における国際貿易と倭寇問題、2) 商業資本と商人の多角経営、3) 都市の経済機能と特殊なエリア、都市の環境と飲料水問題などのテーマである。関連の研究成果は、国際学会での報告および研究機関の招待講演、論文の刊行などを通して、公開している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

この課題の研究は、グローバルの視点から人・物・情報・金銭等の空間移動、とりわけ物流に関する歴史条件、社会資本、外部（国家）の関与、社会内部の制度創出、また空間流動・流通や社会変革の中心的役割を果たす都市の実態、伝統都市における社会分層と経済・社会の空間構造、また伝統都市の生活システムと人々の環境営為などの問題を通して、16-19世紀における中国商業環境の実態検出、社会経済構造の解明、即ち伝統中国の長期的社会経済変動を理解する際に基礎的作業であり、さらに新しい視点の提起と歴史研究の理論と方法の模索も知的生産に貢献できる。

研究成果の概要（英文）：This research project started in 2014 and finished in 2018. From the early 16th century on, silver entered China from Japan and America through the international commerce trading silk and porcelain. Based on the presence of those abundant silver in China, the investigation explores the change of Chinese social economics over the long course of the Ming and Qing Dynasties. As an important result, active domestic and international commerce brought about long-term changes in Chinese social economics. The flow of silver from outside China was one of the reasons. In the past five years, the researcher conducted archival and on-site investigations. The results of this research were presented in the international academic conference that the researcher participated in and international academic workshops that the researcher organized.

研究分野：アジア史・アフリカ史

キーワード：商業信用 会館 遠距離貿易 金融 倭寇 都市空間 商業ネットワーク 飲料水

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

16世紀前期より日本、アメリカ大陸の銀は起爆剤となり、銀と絹・陶磁器・茶等の交換を中心とする地球規模の貿易の幕を開かせた。1800年まで中国は活発な輸出を通して、世界銀の三割強を獲得した。諸要因による大規模の南北物流は、中国の主要な地域を巻き込み、通貨と財政・税収制度の転換を促すのみならず、商業の活発的展開、市鎮の成長、都市規模の拡大等が顕著的に現れたように長期的な社会経済変動を導いた。これに対して学界で貿易、商人、市場、貨幣等の研究は多くの成果を積み重ねてきた。

日本、中国、欧米の学者は本課題との関連領域、特に漕運、運輸、商路と商人案内書、情報伝達及び税関に多彩な研究成果を積み重ねてきた。しかし如何に国際貿易ブームとリンクしながら、明代中期以来、遠隔地商業に関する情報・知識の蓄積、交通運輸・流通の形態、宿、情報伝達、信用と遠距離決済、送金等の新しい社会経済現象及びその変化を相互関連の複雑な系統の要素として整合的に認識し、社会経済の発展程度、質、空間構造等を把握するのは非常に重要であるが、経済学視点の関連研究は必ずしも十分に進んでいると言えない。

2. 研究の目的

本課題は、16-19世紀というロングスパンで18世紀と19世紀前半の中国社会に焦点を当て、文献研究と現地調査を行いながら、流通領域 取引費用と関連の民間社会の制度的 営為・創出に注目し、首都北京の日用品供給、在京の商人・士紳の遠隔地商業・空間移動の環境、故郷等との情報(書簡)伝送などの問題を一つの枠組みの中で整合的に考察する試みである。この課題は京杭大運河及び長江中下流域水系を含む地域を通す人・物・情報などの移動を中心にし、人・物・情報等の遠距離空間移動に関する知識・情報の集積、出版、税関、通関管理、旅館、倉庫、人・もの・情報等の遠距離空間移動の技術と社会の条件・環境、安全、信用の形態、商人・官僚の家書を比較し、私書伝達の形態を具体的に研究する。伝統中国の社会経済の長期的変動、即ち遠隔地商業環境・取引コスト、及びその背後の制度的「成長」・民間社会の営為に注目しながら、官僚、特に商人の私書(家信)等を中心に、重要な旅行記、日記、日用類書、路程書、税関報告、漕運全書等の公私文献を利用し、交通・情報伝達の側面から、南北物流の中心的役割を担った京杭大運河水系をめぐる交通路、物流形態、旅館、情報伝達システム等などの社会資本・商業環境の制度的変化を具体的に考察した上で、16-19世紀における中国社会経済の非均衡の空間特徴を把握し、さらに当時中国の経済構造を明らかにする。

3. 研究の方法

「制度経済学」、特に取引コストの概念と比較歴史制度研究の方法を導入し、即ち経済学の理論、経済史の研究方法を運用し、地図、絵図、写真等の資料を広く収集し、漕運全書、奏折、税関報告、旅行記、路程書等を含む多くの分析を通して、運河、特に蘇州、揚州、通州を通過する公私の貨物・人等を数量的に把握し、遠距離商業・空間移動者の書簡を収集し、運河沿線のサービス業の状況と変化、また私書伝送システム・形態を探り、民間社会の制度的営為・創出より長期的社会経済変動を把捉し、伝統中国の社会経済構造を立体的に解明する。

4. 研究成果

この研究では、16-19世紀における商業環境と社会経済構造を理解する基礎作業として、主に流通、人・物・情報等の空間移動に関する歴史条件、外部(国家)の関与、社会内部の自主的 制度創出等の側面から以下の課題：(1)、大運河関連の主要都市ネットワークと経済圏、伝統中国の主要な経済区域の空間構造、重層的相互関係、(2)、大運河に関連する人・もの等の移動の制約要因、(3)、大運河に関連する都市の宿泊施設と都市機能の空間構造、貨物転送等の形態、

(4)、商業活動の重要な内容として、資金の調達組織と信用、情報伝達の形態と在外都市の商業拠点・情報センターとしての地縁会館、当時社会の私書伝送システム、大運河と長江水系を利用する徽州と江南の地域内の書簡・金・小包伝送システムの効率、コスト、頻度、信用等、(5)都市の日常生活環境とライフライン、特に生活給水システム、下水及びごみ処理システムについて、研究を行い、一部の成果はすでにまとめて、論文と研究報告として、研究雑誌、国際シンポジウムの報告、専門テーマに関する国際的な **Workshop** の企画、開催、及び招聘講演などの形で、具体的に五年間 ハーバード大学に滞在する在外研究による一年間の延期)資料調査、現地調査と国際シンポジウムの参加を含め、本課題の研究を推進してきた。すでに研究論文と研究報告として、公開している成果は、1) 16-20 世紀における商業環境の整備と徽州商人の活動、東アジア海域における国際貿易と倭寇問題、2) 民間金融組織・商業資本と商人の多角経営、3) 都市の経済機能と特殊なエリア、都市の環境と飲料水問題に集中している。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計9件)

- (1)、熊遠報「清代の北京水文書(2)」(早稲田大学『人文社会科学研究』59号 Pp125-165、2019年3月、査読なし)
- (2)、熊遠報「清代の北京水文書(1)」(早稲田大学『人文社会科学研究』58号 Pp149-191、2018年3月、査読なし)
- (3)、熊遠報「会館・遠距離貿易・商業ネットワーク 以明清時期北京的歙県会館為考察線索」(『南国学術』第8巻3期 Pp463-473、2018年、査読ある)
- (4)、Xiong yuanbao: Mutual funding and saving: socioeconomic interpretation on the traditional "rotating savings and credit associations" in Huizhou. Xiong yuanbao (Researches in Chinese Economic History, NO.6, Pp1-48, 中国知網 <http://jtp.cnki.net/bilingual2018>, 査読ある)
- (5)、熊遠報「在互酬与儲蓄之間 伝統徽州“錢会”的社会經濟解釈」(『中国經濟史研究』2017年第6期、Pp5-29、2017年、査読ある)
- (6)、熊遠報「苦水: 北京的伝統環境困境」(『歴史視野中的水環境与水資源』『浙江大学学報』2017年3期、Pp54-55、査読ある)
- (7)、熊遠報「徽州商人と倭寇 嘉靖後期、東アジア海域秩序の劇震を中心に」(『中国社会と文化』第31号、Pp5-19、2016年、査読ある)
- (8)、熊遠報「八大胡同与北京城的空間關係 以清代民国時期北京的妓院为中心」(『近代史研究』2016年第1期、Pp30-44、2016年、査読ある)
- (9)、熊遠報「収支記録から見た徽州家庭の日常生活 - 清代の祁門王氏の家庭帳簿を中心に」(東京大学東洋文化研究所『東洋文化研究所紀要』第168冊、Pp97-131、2015年、査読ある)

[学会発表](計7件)

- (1)「在帝都与故都之間 16 世紀以来旅行指南中北京形象的形成」(「世界システムに巻き込まれた中国と戊戌変法 120 周年記念シンポジウム」、2018年8月25日、桂林)
- (2)「苦水」(「東アジア近世・近代史の諸問題」研究会、東洋文庫 2018年3月24日)
- (3)「伝統北京居民の生活用水与水環境 以清・民国の北京水売買文書为中心」(中国近代社会史学会国際シンポジウム、2017年8月21日、杭州)

(4) Bitter Water: Potable Water in Late Imperial Beijing (ハーバード大学燕京研究所・Boston College、Pre-Conference Harvard-Yenching Workshop on “Water Resources”、2016年4月20日)

(5) “The Flow of Silver and the Breakdown of China's Southeastern Coastal Defense System Seen through the “Great Japanese Pirate Raids” of Mid-Sixteenth Century” (世界経済史学会京都大会、2015年8月4日)

(6) 「徽州商人と倭寇」(中国社会文化学会、2015年7月12日)

(7) 「行宮と紫禁城の間 18世紀における北京西北の街道景観」(東京大学東洋文化研究所シンポジウム「描かれた都-北京編」,2015年4月13日)

招聘講演(計4件)

(1) 「伝統北京住民の飲料水と生活環境問題」(北京聯合大学、2019年3月13日)

(2) 「倭寇問題と東アジア地域における早期グローバル化」(ハーバード大学東アジア言語・文明学部、2016年6月2日)

(3) 「伝統北京の飲用水問題」(北京大学歴史学部2016年11月4日)

(4) 「大倭寇と500年間の中日関係」(中国社会科学院近代史研究所、2016年11月1日)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名:

ローマ字氏名:

所属研究機関名:

部局名:

職名:

研究者番号(8桁):

(2) 研究協力者

研究協力者氏名: Debin Ma、Di Wang、Wenkai He、呉琦、許檀、王振忠、王奇生

ローマ字氏名: Debin Ma、Di Wang、Wenkai He、Wu Qi、Xu Tan、Wang Zhenzhong、Wang Qisheng

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。